

# 平成 22 年度第 2 回成田市総合計画審議会会議録

## 1 開催日時

平成 22 年 11 月 9 日（火）午前 10 時～午前 11 時 30 分

## 2 開催場所

成田市花崎町 760 番地  
成田市役所 3 階第 2 応接室

## 3 出席者

(委員)

飯田会長、谷副会長、櫻井委員、高木委員、石橋委員、渡邊委員、伊藤委員、  
土屋委員

(事務局)

企画政策部 深山部長  
企画政策課 成毛課長、神山主幹、伊藤副主幹、金光主査  
市街地整備課 金岡副技監、斎藤主幹

## 4 議事（要旨）

(1) 総合 5 か年計画' 06 の平成 21 年度末進捗状況について

「成田市総合 5 か年計画' 06」について、平成 21 年度末における施策体系別の進捗状況、「計画達成後のすがた」とした目標項目の達成状況について説明した。

(2) パブリックコメントの結果について

「成田市総合 5 か年計画' 11」の素案に対して実施したパブリックコメントについて、寄せられた意見や提案、及び対応について説明した。

(3) 総合 5 か年計画' 11 の原案について

「成田市総合 5 か年計画' 11」の原案について、概要を説明した。

## 5 質疑等

□表参道のセットバックについて、対象は何件あるのか。

→全体で 107 件あるが、次期実施計画の期間内での完了を目標としている。

□パブリックコメントの件数はどうだったのか。

→6 名から 31 件の意見が寄せられた。なお、一つの意見の中に違う内容のものがある場合は、区分してカウントしている。

□畑ヶ田のスポーツ広場の施設概要、青写真は出来ているのか。

→基本設計まで終了している。

□より良い施設にするために、市民の意見を取り入れてほしい。

□大清水の県道では、大雨のときに冠水する箇所があるため整備が必要ではないか。

→千葉県管理であることから、土木部から県に要望するよう調整する。

□新たなスクールバス運行の内容は。

→学校適正配置のなかで廃止される学校の児童を対象としており、中郷小と久住第二小の区域、下総統合小学校のうち徒歩通学が困難なところで運行する予定となっている。

□駅再開発ビルについて、全体の所有権はどうなるのか。

→再開発ビルに入る方の区分所有となる。

□再開発ビルの内容は。

→入居する業種や業態については、基本計画に沿って、1階から3階は商業施設、4階と5階は公益施設、6階以上は住宅としている。現在、民間からの提案を受けている状況であり、これから選定委員会で審議する。

□特定の大手企業が受注すると聞いているが、地元業者でも対応可能な企業があるのではないかと。業者選定の基準はどうなっているのか。

→再開発事業が特殊であるため、ビルを建設する企業体と、保留床を買い取った上で一般に販売する企業体を建設業務代行者として公募したところ、2つの企業体から応募があった。

国の審査基準による総合点で、1, 200点以上として公募したことから、市内の業者からの応募はなかった。

□ビル建設後のマンションの区割りについては、市内の業者で出来るか。

→内装工事等については、市内業者を優先する条件を付してある。

□1, 200点の基準があるから、マンション分譲に係る部分についても企業体を実施し、市内の業者が分担できないということか。

→基準点については、ビル建設工事について適用するものであり、マンション等の保留床の販売については制約していない。ただし、保留床の全体を引き取った上で販売を完了していただく必要がある。

なお、施工者である市と企業体は、区割りも含めて契約することから、その部分では他の業者が関与できるものではない。

□企業募集の際に、地元業者が納得できるような説明がなされているのか。

→保留床を取得する事業者、いわゆる特定事業参加者については、募集要綱を公開し、8月5日から27日までの期間で募集した。この要綱では、企業の財務状況が良好であれば誰でも応募することが出来た。また、建設事業についても、地元企業が大手企業と組んで共同企業体として参画することは可能であった。

最終的には、2つの企業体からのエントリーという結果になった。

## 6 傍聴

3人

## 7 次回開催日時(予定)

未定